

動植物一覧

1. 植物

クヌギ、コナラなど雑木林を構成する植相（落葉広葉樹林）から、常緑広葉樹林への移行が進む植相状況と考えられる。ケヤキ、シラカシなどの大木も多くみられる。樹齢は高いものと想定される。一方で、モウソウチク林が拡大繁茂しており、広葉樹を被圧状況にある。

管理状況から、中低木層は比較的限定されており、アズマネザサなどと一部エリアに密生している状況にある。シュロなど外来種も放置され分布が目立っている。

東側の明るい低茎草地の林床植生域では、キンラン、ギンランなどの重要種も多く発生している。

表 1 重要種一覧（植物）

	科名	種名
1	ユリ科	ワニグチソウ
2	ラン科	ギンラン
3		キンラン
4		ササバギンラン
合計	2 科	4 種

キンランやギンラン、ワニグチソウなど武蔵野の雑木林を代表する林床植物が多数生息している。林床は明るく、比較的密に繁茂する低茎アズマネザサが定期的の下刈りされていることによる。

ワニグチソウ

草丈：20～40cm

花期：5～6月

絶滅危惧種

（東京都：絶滅危惧 I B類

山地から丘陵にかけて、

明るい林床や林縁などに

生育する。



キンラン

草丈：30～70cm

花期：4～5月

絶滅危惧種

(東京都:準絶滅危惧)

区部から多摩地域まで、
台地から丘陵、山地の常緑
または落葉樹林内に生育
する。



ギンラン

草丈：10～30cm

花期：4～5月

絶滅危惧種

(東京都:絶滅危惧 I B類)

区部から多摩地域までの
常緑または落葉樹林内や
林縁、特に丘陵地の雑木
林に多く見られる。



ササバギンラン

草丈：30～50cm

花期：4～6月

絶滅危惧種

(東京都:準絶滅危惧)

区部から多摩地域まで、
台地から丘陵、山地の常緑
または落葉樹林内に生育
する。



2. 動物

住宅地に隣接するため哺乳類なども確認されている。爬虫類では、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビの2種の重要種が確認されている。鳥類は樹林性や水辺環境を好む種類などが多く確認されている。ゴイサギ、モズなど重要種も確認されている。

表 2 確認種一覧（哺乳類、爬虫類）

	網名	目名	科名	種名
1	哺乳類	食虫目	モグラ科	アズマモグラ
2		コウモリ目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ
3		食肉目	アライグマ科	アライグマ
4			イヌ科	タヌキ
5			ジャコウネコ科	ハクビシン
計	1網	3目	5科	5種
1	爬虫類	有隣目	ヤモリ科	ニホンヤモリ
2			カナヘビ科	ニホンカナヘビ
計	1網	1目	2科	2種

重要種として爬虫類は、ニホンヤモリ、ニホンカナヘビの2種が認められている。ニホンヤモリは竹林で生体が、杉の幹や枯竹筒内で卵が確認されている。ニホンカナヘビは、比較的明るい草地や林縁で多く確認されている。

アズマモグラ

頭から尾まで12~16cm

1年中見られる

毛はビロード状。前足は土を掘るため、大きく、爪も長い。



ヒナコウモリ

頭から尾まで6.8~8.0cm

1年中見られる

絶滅危惧種

(東京都:情報不足)

チョコレート色に霜降り模様の美しい毛色。

建物の壁のすきま、樹洞等をねぐらとしている。



アライグマ

頭から尾まで約60cm

1年中見られる

外来種(特定外来生物)

尾は長く、リング状の縞模様。目の周りが黒い。

雑食性でなんでも食べる。



ホンドタヌキ

頭から尾まで40~50cm

1年中見られる

果実や種子、昆虫や

ミミズなどの小動物

を餌にしている。



ハクビシン

頭から尾まで63cm

1年中見られる

外来種

顔の中心に白い縦線。

中国大陸原産。木登り

が得意で、鳥の卵や果

実をとって食べる。



ニホンヤモリ

頭から尾まで10～14cm

1年中見られる

絶滅危惧種

(東京都:留意種)

夜行性で、日中は木の

皮の下などに隠れている。

動物食で昆虫類を食べる。



ニホンカナヘビ

頭から尾まで16～23cm

1年中見られる

絶滅危惧種

(東京都:絶滅危惧Ⅱ類)

日当たりの良い草地で

みられる。地味な褐色か

灰褐色をしている。



鳥類は、カルガモ、キジバトなど21種が確認されている。住宅地に囲まれているため、カラスやスズメ、ツバメなども飛来するが、シジュウカラやメジロなど樹林環境を好む鳥類、野川が近接することからカルガモ、ゴイサギなど水辺の環境を好む鳥類も確認されている。

表 3 確認種一覧（鳥類）

	目名	科名	種名
1	カモ目	カモ科	カルガモ
2	ハト目	ハト科	キジバト
3	カツオドリ目	ウ科	カワウ
4	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ
5	タカ目	タカ科	トビ
6	キツキ目	キツキ科	コゲラ
7	スズメ目	モズ科	モズ
8		カラス科	カケス
9			ハシボソカラス
10			ハシブトカラス
11		シジュウカラ科	シジュウカラ
12		ツバメ科	ツバメ
13		ヒヨドリ科	ヒヨドリ
14		ウグイス科	ウグイス
15		エナガ科	エナガ
16		メジロ科	メジロ
17		ムクドリ科	ムクドリ
18		ヒタキ科	ジョウビタキ
19		スズメ科	スズメ
20		セキレイ科	ハクセキレイ
外来種			
1	(ハト目)	(ハト科)	カワラバト
合計	7目	18科	21種

カルガモ

頭から尾まで63cm

1年中見られる

オスは繁殖期も羽の

色がほとんど変わらず

オスもメスも1年中

同じような色をしている。



キジバト

頭から尾まで33cm

1年中見られる

灰褐色の体に赤みを帯

びた鱗模様が美しい。

つがいでいることが多い。



カワウ

頭から尾まで81~84cm

1年中見られる

長いくちばしを持ち、

水に潜って魚を採る。

主に川や湖沼などに生息

する。



ゴイサギ

頭から尾まで57cm

1年中見られる

他のサギ類にくらべ、
首が太く短くずんぐり
した体つき。川や湖沼、
水田などで見られる。



トビ

頭から尾まで58cm(オス)

68cm(メス)

1年中見られる

日本で最も身近な猛禽
類。「ピーヒョロロ」と鳴
く。動物の死がいや小動物
を食べる。



コゲラ

頭から尾まで15cm

1年中見られる

キツツキの仲間で一番
小さい。丈夫なくちばし
で幹をつついて、樹皮の下
の昆虫を食べる。



モズ

頭から尾まで19 ~ 20cm

1年中見られる

鋭いくちばしを持ち、
冬が近づくと昆虫など
を枝に刺して「はやに
え」(貯蔵用の餌)をつくる。



カケス

頭から尾まで33cm

1年中見られる

茶色の体に白黒水色の
3色の風切羽が特徴。
冬に備えてドングリ等
を土に埋めて貯食する。



ハシボソカラス

頭から尾まで50cm

1年中見られる

くちばしが細く、頭を
上下に振りながら
「ガァーガァー」なく。



ハシブトカラス

頭から尾まで55cm

1年中見られる

くちばしが太く、額が
出っ張っている。澄んだ
声で「カーカー」と鳴く。



シジュウカラ

頭から尾まで15cm

1年中見られる

胸に黒いネクタイの
ような模様がある。
市街地の公園や庭でも
良く見られる。



ツバメ

頭から尾まで17cm

春から秋

夏鳥として渡来する。
市街地から里山に生息
し、軒下に巣を作る。



ヒヨドリ

頭から尾まで28cm

1年中見られる

市街地の公園や庭など

で見られる。「キーキー」

と大きな声で鳴く。



ウグイス

頭から尾まで15cm

1年中見られる

やぶの中を活発に動い

て虫を食べる。春に

「ホーホケキョ」と鳴くのは

オスだけ。



エナガ

頭から尾まで13cm

1年中見られる

白っぽい体に黒くて長

い尾羽が特徴。コケや

枯草をクモの糸で接着させ

て巣をつくる。



メジロ

頭から尾まで11cm

1年中見られる

背が黄緑色で腹側は白

い。目の周りが白い。

蜜を好み、サクラ等の花に

くちばしを刺して蜜をなめる。



ムクドリ

頭から尾まで24cm

1年中見られる

オレンジ色のくちばし

と白い顔が特徴。

地面で餌をとる姿がよく見

られる。



ジョウビタキ

頭から尾まで14cm

秋から早春季

冬鳥として全国に渡来。

黒い顔と体のオレンジ

色が特徴。



スズメ

頭から尾まで14cm

1年中見られる

人が生活している環境

を好み、家の屋根やす

きまに巣をつくる。



ハクセキレイ

頭から尾まで21cm

1年中見られる

白と黒のコントラスト

のはっきりした色。

長い尾を上下に振りながら

餌を探して歩きまわる。



カワラバト

頭から尾まで24cm

1年中見られる

外来種

人の生活環境の近くで

見られ、公園や神社な

どで群れていることが

多い。



3. 昆虫類

昆虫類は、樹林性の種を中心に 218 種類を確認している。その中から、雑木林において代表もしくは指標する種の例を示す。

ヒグラシ

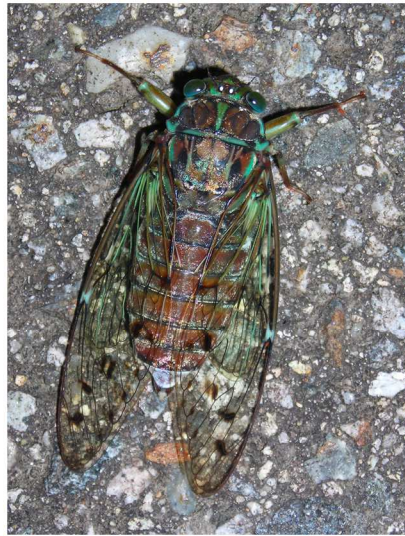
体長：雄28～38mm

雌21～25mm

出現期：6～9月

平地から山地にかけての薄暗い林の中に生息する。

明け方や夕方に「カナカナ」という声で合唱する。



コクワガタ

体長：雄18～54mm

雌22～30mm

出現期：5～10月

主にクヌギ・コナラ等で構成される雑木林等に生息する。

幼虫は広葉樹の朽木に穿孔し、その材を食べて成長する。



センチコガネ

体長：12～22mm

出現期：4～11月

全身が赤紫色の金属光沢を持つコガネムシ。

糞虫の一種で、獣の糞の下に産卵し、幼虫が糞を食べて育つことから、獣の生息指標にもなる。



シロテンハナムグリ

体長：16～25mm

出現期：5～9月

暗緑色～銅色の体に、
白点をちりばめたハナ
ムグリの仲間。

成虫の寿命が長く、環
境の悪化に大変強いた
め、カナブンに置き換
わって増えている。



オオスズメバチ

体長：女王蜂40～45mm

働き蜂27～40mm

雄蜂35～40mm

出現期：5～11月

土中や樹洞などの閉鎖
空間に営巣する。

非常に獍猛で攻撃性が
強く、毒性も強い
ため注意が必要。



アカボシゴマダラ

体長：12～22mm

出現期：4～11月

特定外来生物

中国大陸原産の移入
種。

都市～里山にかけて生
息し、幼虫はエノキ等
を餌にするため、在来
のゴマダラチョウと競
合することがある。

